

車いす使用者のためのシーティング ～シーティングで変わる車いす使用者の未来～

初心者向け

主催 (株) アクセスコンサルティング (株) アクセスインターナショナル
共催 大日本印刷株式会社

日時：2017年1月21日（土） 13:30～16:30（受付開始 13:00）

※講演終了後、個別相談の時間を若干用意いたします。

会場：DNPプラザ（DNP市谷田町ビル 2F）※エレベーターあり

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1丁目14-1

参加費：¥3,000(税込)



講師 山崎 泰広

日本では車いすが患者運搬の道具、移動のための道具と考えられており、車いす使用者の安定性や快適性が軽視されていることが多く見受けられます。その結果、車いすに乗るのは辛い、長時間乗ってられない、外出・活動できない、褥瘡(床ずれ)が生じる、残存機能を十分に発揮できないという車いす使用者が増え、ベッド中心の生活になっている人も少なくありません。

北米を中心に世界30ヶ国以上で活用されている「シーティング」は車いすを使用者に合わせて最適に設定する技術です。シーティングによって車いすは不快な場所から快適で残存機能を最大限に発揮できる生活の場になります。このセミナーでは小児から高齢者、重度障害者からアクティブまですべての車いす使用者に必要なシーティングについて分かりやすくお話しします。

シーティング・スペシャリスト (株)アクセスインターナショナル 代表 (株)アクセスコンサルティング 代表
順天堂大学非常勤講師 一般財団法人日本車椅子シーティング財団 理事

内容：シーティング初心者向けセミナー

◆車いすと二次障害

- ・ 車いす使用者の姿勢の問題、二次障害
- ・ 重力の姿勢への影響
- ・ 車椅子上の姿勢の考え方

◆シーティング

- ・ シーティングの目的
- ・ 安定性と快適性の提供
- ・ 骨盤の後傾と姿勢の関係(円背、尾骨の褥瘡等)
- ・ ずり落ち姿勢(骨盤が後傾した姿勢)の問題と改善
- ・ 骨盤の傾きと姿勢の関係(側弯、坐骨の褥瘡等)
- ・ 片側に傾いた姿勢(骨盤の傾き)の問題と改善

◆車いすでの褥瘡予防、再発防止

- ・ 車いすとクッションの考え方
- ・ クッションによる対応(選択と設定)
- ・ シーティングによる対応

◆重度障害者のシーティング

- ・ 変形、拘縮、脱臼、筋緊張への対応
- ・ 二次サポート(ポジショニングベルトやヘッドレスト)の活用

◆シーティング評価方法

- ・ シーティング評価方法

終了

※個別相談

車いすシーティング活用

～機能性向上と二次障害防止に向けて～

中級者向け

主催 (株) アクセスコンサルティング (株) アクセスインターナショナル
共催 大日本印刷株式会社

日時：2017年2月18日(土) 13:30～16:30 (受付開始 13:00)

※講演終了後、個別相談の時間を若干用意いたします。

会場：DNPプラザ (DNP市谷田町ビル 2F) ※エレベーターあり

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1丁目14-1

参加費：¥3,000(税込)



北米を中心に世界30ヶ国以上で活用されている「シーティング」は車いすを使用者に合わせて最適に合わせて設定する技術です。今回のセミナーでは、シーティングの初歩についてすでに学ばれた方向けに、病院・施設等でのシーティングの実践・活用に向けてシーティング技術と評価方法を解説します。車いすを不快な場所から快適で残存機能を最大限に発揮するための「生活の場」に変えて、車いす使用者の自立を支援するためにシーティングは不可欠です。小児から高齢者、重度障害者からアクティブまですべての車いす使用者に必要なシーティングの実践に向けて分かりやすくお話しします。

講師 山崎 泰広

シーティング・スペシャリスト (株)アクセスインターナショナル 代表 (株)アクセスコンサルティング 代表
順天堂大学非常勤講師 一般財団法人日本車椅子シーティング財団 理事

内容：シーティング中級者向けセミナー

◆車いすと二次障害

- ・ 車いす使用者の姿勢の問題、二次障害
- ・ 重力と姿勢の関係
- ・ 車椅子上の姿勢の考え方

◆シーティング(1)

- ・ シーティングの目的
- ・ 安定性と快適性の提供
- ・ 骨盤の傾きと姿勢の関係
- ・ 骨盤の後傾と姿勢の関係(円背、尾骨の褥瘡等)
- ・ 骨盤後傾姿勢(ずり落ちた姿勢)の問題と改善
- ・ 骨盤後傾の改善策(座面・角度・コントウア)

◆シーティング(2)

- ・ 骨盤が片側への傾きと姿勢の関係(側弯、坐骨の褥瘡等)
- ・ 片側へ傾いた姿勢の問題と改善

◆車いす使用者の褥瘡予防・再発防止

- ・ 車いすと褥瘡の関係
- ・ クッションの考え方
- ・ クッションによる対応(選択と設定)
- ・ シーティングによる対応
- ・ 圧力分布測定の活用

◆重度障害者のシーティング(1)

- ・ 拘縮への対応
- ・ 変形への対応
- ・ 二次サポートの活用

◆シーティング評価方法

- ・ シーティング評価方法

終了

※個別相談